

紙屋克子先生「第 50 回フローレンス・ナイチンゲール記章」受賞 祝辞

紙屋克子先生、ナイチンゲール記章ご受賞おめでとうございます。

先生は絶望のどん底にいた遷延性意識障がい者及び家族に明かりを灯してくれました。その明かりは年月を増すごとに大きくなって、多くの遷延性意識障がい者及び家族を勇気づけてきました。

この度のご受賞にあたりまして、わかば会では盛大なお祝いと多大な感謝の気持ちを込めて絶大な拍手をお届け致します。 おめでとうございます。

2010 年（平成 22 年）1 月 30 日わかば主催「紙屋先生特別講演会」が田町にある「女性と仕事の未来館」で開催されました。212 名参加で講堂が満席でした。当時代表和田さん挨拶から始まり、3 時間に及ぶ貴重な講演をいただき質疑応答の後、先生と個別に相談したい方が講演台の下に列をつくっていました。

この講習会をきっかけにわかば会に入会した方もいます。当時、静岡県立大学大学院看護学研究科教授を歴任されておられた紙屋先生の研究室に病室内での当事者の容態を映像にしてアドバイスをいただいたことを今でも感謝している会員がいます。

筑波大学名誉教授に就任後の 2015 年 1 月 17 日には「声なき声を聞きながら」を講演いただきました。その後、紙屋先生からこの時の講演でわかば会員さんにお伝えしきれなかったことがあり再度のご講演申し出でいただきました。同年 4 月 11 日「失われた意識をとりもどすための看護」をテーマとしたご講演が開催された経緯です。さらに、同年 5 月 12 日には紙屋先生が雑誌等に掲載された原稿の一部を寄贈いただいております。

長年にわたり遷延性意識障がい者に寄り添い一緒になって我々を見守っていただいた紙屋克子先生にはいくらお礼の言葉を連ねても伝えきれない思いです。

おめでとうございます紙屋克子先生。

一同、心よりお祝い申し上げます。

2025 年 5 月吉日